



# 建交労



2021年1月3日  
かながわけんなんしふ  
 建交労神奈川県南支部  
 2021年春闘 No.2  
 2020年度推進ニュース⑨通算206号  
 発行責任者 佐藤 章

## コロナ禍克服へ差別・貧困・格差をなくし 労働者・国民に優しい職場・社会の実現を！

2021年を迎えた世界の人々の願いはコロナ禍の1日も早い収束です。コロナ禍で最大の犠牲者は低賃金や差別・無権利状態に置かれている女性・非正規労働者・障がい者・生活困窮者など人間らしく生きる権利を奪われている社会的弱者です。

また、エッセンシャルワーカーと呼ばれ人々のライフラインを支える「医療・介護・福祉や公共交通・**トラック**・清掃、スーパー・ドラッグ・コンビニエンスストアなどの産業・業種」で働く労働者と日本経済を土台で支える中小企業経営もコロナ禍で大きな犠牲を強いられています。

儲けることだけを求めて人も地球も壊してしまう新自由主義的な経済や政治は、たとえ今のコロナ禍が収束しても第4・第5のコロナ禍を引き寄せるとも言われます。

労働組合の役割は、多くの仲間の団結した力で働くものの生活と権利を守ることです。人々の生活と経済活動を支えるトラック労働者の生活を改善し、中小経営を守る建交労の運動は新自由主義とは相容れない人と自然に優しい職場や社会をめざす運動と一体です。



1.2 夕方に横浜・金澤八景の平潟湾から望む富士山

## 春闘&企業アンケートで社会的な影響力を広げよう！

建交労トラック部会は、毎年秋から春闘準備の「トラック職場の要求アンケート」とトラック会社への「トラック運輸の取引動向に関するアンケート」に取り組んでいます。会社向けのアンケートは、建交労に加盟しているトラック労働者の職場経営者と協力して全国のトラック経営者から毎年1000社以上のアンケートを集めています。

アンケート結果は、トラック労働者の春闘要求づくりや、トラック企業の経営環境改善をめざす労使共同の行動【国土交通省や厚生労働省、経済産業省・中小企業庁、全日本トラック協会への要請など】をはじめ各県のトラック協会、運輸局・運輸支局などへの要請行動などにも活用して影響力を発揮しています。



野島を背景に平潟湾のモノレール

アンケート活動は集計数が多いほどトラック産業の労働者と中小企業経営の状態をよりリアルに反映し要求の根拠や正当性も明確にして社会的な影響力を広げます。労働者向けアンケートは年明けから建交労組合員以外の仲間からの集約が増える時期です。全労働者を視野にアンケートを広げよう。

下表は、昨年(2020年)の11月20日時点のアンケート中間集計結果(抜粋)です。この時点では、労働者の賃金は上がるよりも下がる傾向が強く、経営者側の運賃も「上がった」と答えた企業は極少数で「下がった」との回答もほぼ同数あります。ウィルス感染のリスクを抱えながら働くトラック労働者と経営の状態は改善されていません。この現状からは春闘での「賃上げ」と「運賃引き上げ」は待ったなしであることは一目瞭然です。

**春闘トラック労働者の要求アンケート**  
2020年11月20日中間集計 731人分

A. 性別		実数	構成比
1	男性	681	93.2
2	女性	44	6.0
	無回答	6	0.8
B. 年齢		実数	構成比
1	10代	4	0.5
2	20代	33	4.5
3	30代	94	12.9
4	40代	265	36.3
5	50代	263	36.0
6	60代以上	69	9.4
	無回答	3	0.4
F. 組合		実数	構成比
1	建交労の組合員	530	72.5
2	他労組の組合員	56	7.7
3	組合はあるが加入していない	58	7.9
4	組合はない	28	3.8
5	わからない	47	6.4
	無回答	12	1.6
H. 業態		実数	構成比
1	特積み	130	17.8
2	石油等危険物	34	4.7
3	ケミカル輸送	17	2.3
4	海上コンテナ	3	0.4
5	酸素(医療・工業ガス)	29	4.0
6	鉄鋼材輸送	26	3.6
7	食品・流通関係	170	23.3
8	その他一般区域(②~⑦以外)	280	38.3
	無回答	42	5.7
《問1-1》生活実感		実数	構成比
1	かなり苦しい	250	34.2
2	やや苦しい	281	38.4
3	まあまあ	175	23.9
4	ややゆとりがある	12	1.6
5	かなりゆとりがある	4	0.5
	無回答	9	1.2
《問1-3》年収前年比		実数	構成比
1	増えた	54	7.4
2	減った	372	50.9
3	変わらない	237	32.4
4	わからない	56	7.7
	無回答	12	1.6

**トラック運輸の取引動向アンケート**  
2020年11月20日中間集計 640社分

《問3》企業規模		実数	構成比
1	10台以下	137	21.4
2	11~20台	162	25.3
3	21~30台	124	19.4
4	31~50台	114	17.8
5	51~100台	66	10.3
6	101~200台	20	3.1
7	201台以上	8	1.3
	無回答	9	1.4
	平均値	32.8	台
《問4》主な取引先運賃の1年間の変		実数	構成比
1	上がった	104	16.3
2	変わらない	377	58.9
3	やや下がった	108	16.9
4	大幅に下がった	45	7.0
	無回答	6	0.9
《問6》原価計算書の策定について		実数	構成比
1	自社で策定している	398	62.2
2	荷主側が策定している	40	6.3
3	策定していない	187	29.2
	無回答	15	2.3
《問7》現在の経営状態		実数	構成比
1	採算はとれている	170	26.6
2	トントン	300	46.9
3	赤字経営だ	160	25.0
4	廃業も考えている	4	0.6
	無回答	6	0.9
《問8》収益悪化の主な要因		実数	構成比
1	運賃の下落	88	14.5
2	仕事総量の減少	408	67.3
3	燃料費など運行コストの増加	205	33.8
4	賃金など労務コストの増加	324	53.5
5	消費税、社会保険料など社会的コストの増加	253	41.7
6	環境対策による負担増	98	16.2
7	その他	60	9.9
	※構成比は無回答を除く		
《問9-1》トラックドライバー不足の対		実数	構成比
1	ドライバー不足を感じている	377	58.9
2	ドライバー不足は感じていない	105	16.4
3	どちらとも言えない	149	23.3
	無回答	9	1.4